

事業種類	道路付帯施設の整備	事業名	交通安全施設等整備
------	-----------	-----	-----------

建設部 道路管理課

番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
1	佐久穂町	(国)141号 はた 畑	歩道設置工 L=620m W=2.5m	300,000	40,000	H30	B	B	A	B	B	B	交通量が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	小中学校の統合により通学歩行者の増加が想定されることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
2	佐久市	こもろ なかごみせん (一)小諸中込線 み かがた 三河田	歩道設置工 L=500m W=2.5m	100,000		H30	A	B	B	A	C	A	小学校が近隣にあるが当該路線には歩道がなく、また、交通量も多い路線であることから、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	集落から小学校までの通学路になることから、必要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
3	小諸市	みみより みつおか てい (一)耳取三岡(停) せん 線 もりやま 森山	歩道設置工 L=520m W=2.5m	270,000	50,000	H31	A	B	C	A	A	A	交通量が多く、狭窄な道路で通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	集落とJR三岡駅を結ぶ道路で通行量が多い路線であるが、歩道が未整備であることから、必要性、緊急性が高い。	○	○	○	
4	上田市	(国)406号 ダボス	歩道設置工 L=900m W=2.5m	160,000	20,000	H31	B	B	C	B	B	B	通学路でもあり、観光地が隣接しており、安全な歩行空間の確保のため、歩道の整備が必要である。	須坂市と上田市を結ぶ幹線道路であることから必要性は認められる。	○	○	○	
5	上田市	こもろ うえだ せん (主)小諸上田線 うめがおか 梅ヶ丘	歩道設置工 L=1,130m W=2.5m	400,000	0	H31	A	C	C	A	C	B	交通量、交通事故が多く、緊急性が高いことから、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	上田市と小諸市を結ぶ幹線道路であり、歩道が未整備であることから、緊急性が高く、必要性も認められる。	○	○	○	
6	上田市	しもはら おおや てい (一)下原大屋(停) せん 線 しもさと こいた 下郷～小井田	歩道設置工 L=950m W=2.5m	145,000	0	H31	A	C	C	A	C	B	歩道がなく、迂回しての通学となっており、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	上田市真田と大屋駅を結ぶ幹線道路であり、歩道が未整備であることから、緊急性、必要性が認められる。	○	○	○	
7	富士見町	たつぎわふじみ (一)立沢富士見 てい せん (停)線 とみさと 富里	歩道設置工 L=370m W=2.5m	500,000	0	H30	A	A	B	A	A	A	公共機関(役場、病院)等が隣接しており、安全な歩行空間の確保のため、歩道の整備が必要である。	富士見駅と役場、病院を結ぶ生活道路であるが歩道が未整備で危険にさらされていることから、必要性、重要性、緊急性が高い。	○	○	○	
8	伊那市	(国)153号 きわんど 沢渡	歩道設置工 L=180m W=2.5m	300,000	0	H31	A	A	C	A	B	A	交通量、自転車・歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	歩道空間の確保と慢性的な渋滞緩和を図ることから、必要性が高く、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	

事業種類		道路付帯施設の整備		事業名			交通安全施設等整備						建設部 道路管理課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
9	辰野町	(国)153号 きたおおいでほら 北大出原	交差点改良 L=400m	300,000	0	H31	B	A	C	A	A	B	交通量も多く、渋滞による事故も多く発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	伊北インターを中心に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生していることから、重要性が高く、緊急性が認められる。	○	○	○	
10	松本市	(国)143号 みすず 美須々	歩道設置工 L=250m W=3.0m	65,000	36,000	H30	A	A	B	A	C	A	交通量、自転車・歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	幼稚園、小学校、高校、大学、病院は集積する市街地である。歩道が狭く、事故も多く発生していることから、必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	○	○	○	
11	松本市	(一)やむるあかしなせん しが みやもと 四賀宮本	歩道設置工 L=460m W=2.5m	300,000	20,000	H31	B	B	C	B	B	B	通学路に歩道がなく、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	歩行者等の安全確保を図ることから、必要性は認められる。	○	○	○	
12	松本市	(主)まつもと かんじょう たきまべ せん 線 よこさわ 横沢	歩道設置工 L=430m W=2.5m	300,000	0	H33	A	C	C	C	C	B	交通量が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	自動車交通量、自転車歩行者の交通量がともに多く、危険性が高いことから、必要性が高い。	○	○	○	
13	麻績村	(主)まるこ しんしゅうせん ほんまち 本町	歩道設置工 L=230m W=2.5m	300,000	0	H31	C	A	C	B	A	B	通学路に歩道がなく、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	通学路として利用されているが、歩道が未整備であり危険であることから、重要性が認められる。	○	○	○	
14	大町市	(国)148号 かまね きざき 借馬～木崎	歩道設置工 L=1,100m W=2.5m	400,000	10,000	H30	B	A	B	C	C	B	交通量が多く箇所では歩道がなく、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	通学路に指定されているが歩道中抜け区間である。交通量も多いことから、重要性が認められる。	○	○	○	
15	千曲市	(主)ながの うただ せん だい 代	歩道設置工 L=480m W=2.5m	350,000	0	H30	A	A	B	A	B	B	小学校までの歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、非常に交通量が多いことから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
16	千曲市	(主)ながの うただ せん わかみやくろ ひこ 若宮黒彦	歩道設置工 L=70m W=2.5m	55,000	40,000	H28	A	A	A	A	B	A	当該区間の歩道は中抜けとなっており、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	長野市と上田市を結ぶ幹線道路であり、非常に交通量が多いことから、重要性が高く、必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	

事業種類	道路付帯施設の整備	事業名	交通安全施設等整備
------	-----------	-----	-----------

建設部 道路管理課

番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H27 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
17	須坂市	(国)406号 しおがわまち 塩川町	交差点改良工 L=175m W=6.5(17.0)m	300,000	20,000	H30	A	A	B	B	B	A	交通量も多く、渋滞による事故も多く発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	接続する幹線道路の整備が進められており、接続部の右折レーンを設置して交通渋滞の緩和を図ることから、必要性、重要性が認められる。	○	○	○	
18	須坂市	(国)406号 みなみこまち 南横町	交差点改良工 L=200m W=6.5(17.0)m	480,000	0	H30	A	A	B	B	B	A	交通量も多く、渋滞による事故も多く発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	朝晩の通勤時間帯に混雑が発生し、イライラ箇所に指定されている。近年、事故が多発していることから、必要性、重要性が高い。	○	○	○	
19	長野市	(国)403号 いわの 岩野	歩道設置工 L=400m W=2.75m	500,000	10,000	H31	A	A	C	A	B	A	交通量が多く、狭窄な道路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	須坂市と千曲市を結ぶ幹線道路である。高速道路ICや病院へのアクセス道路であり、交通量も多いことから、必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	第三者評価対象箇所 (詳細は意見書参照)
20	長野市	(国)117号 おおつか 大塚	交差点改良工 L=170m W=6.0(12.0)m	100,000	20,000	H28	A	A	A	B	A	A	交通量も多く、事故危険箇所のも指定されている交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	変則的な五差路になっており事故危険箇所に指定されていることから、必要性が高く、重要性も認められる。	○	○	○	
21	飯綱町	ひがしかわのぼりおせん (一)東柏原赤塩線 あかしお 赤塩	歩道設置工 L=370m W=2.5m	100,000	30,000	H27	B	B	A	A	A	B	歩道がなく、特に冬期間の積雪時にはとても危険なことから、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	前後の歩道は整備され、残された180m区間である。当該区間が完成すれば全線歩道付きになることから、緊急性は認められる。	○	○	○	
22	飯綱町	ながの あらせ、ばらせん (主)長野荒瀬原線 ふかさわ 深沢	歩道設置工 L=140m W=2.5m	300,000	30,000	H30	A	C	B	B	A	B	狭窄な道路で通学路であるが、歩道がなく、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	JR牟礼駅の前で多くの児童、生徒が通学していることから、必要性が認められる。	○	○	○	
23	山ノ内町	みやむらゆだなか (一)宮村湯田中 ていせん (停)線 さむさわ 寒沢	歩道設置工 L=500m W=2.0m	60,000	10,000	H30	C	B	B	B	A	B	小学校までの歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	H24緊急合同点検を踏まえ対策箇所であることから、緊急性は認められる。	○	○	○	
24	上田市	(国)144号 さなだ もとほら 真田～本原	交差点改良 L=230m バス停設置 L=120m	65,000	27,638	H29	A	B	A	C	C	B	交通量も多いため、渋滞が発生している交差点であり、安全な交通空間の確保のため、早期の改良が必要である。	必要性が認められる。	○	○	○	

